

エイプリルフールデイ 4月1日 日曜日

七時半起床。芳江ちゃんは物おぢせず素直で可あいいな、私の事はおぼえてないけど。子供二人連れて訪れた新之助夫人は以前よりずっとずっときれいになった。うす化粧してハンドバックなど持って
晝近く小雨パラつき出したので芳江ちゃん送って錦糸町え歸途につく。家を出てから道端でちらと母に話した。
何だか又家え歸って来いと云うがこわいような気がして芳江ちゃんを亀戸迄送ると歸院してしまった。夕方から晴れるらしい。外出、悩み多い私の気持わからないのかしら。
私は絶対に一月に一度しか会わないから。
でも思えば可わいそうだ。誰って二人とも・・・
充分うそを吐いたが、又うそをつかれてしまった。

4月2日 月曜日

大変だ、大変だ 母が心配して合計四度も電話をかけて来たとか、今更乍ら頭の下る思いがする。
それにつけても通勤になりたいのは山々なれど。
急ぎ今朝電話する。怒られないでホッとした。
立花さんより元気な便りあり。
準夜、広セさんにずる分手傳はせて了った。

4月4日(水)雨

酒井さん当直で食後、おそく迄手傳ってくれる。
広セさんも、どうもありがとう。
朝立花さんに返事書く。春雨の窓辺にてと認(*した)む、岩瀬さんと同封して、酒井さんはまだ書いてないのでお先に、吉田さんに頼む。
広セさんと又二人、立花さんの残して行った小豆で彼女おはぎこさえる。甘かったがあついところを食べたかった。幾日ぶりかで入浴。
今夜はヒンちゃんきれいだな。

4月5日 木曜日 晴

高野さんの怒りんぼ。でも替ってくれてどうもありがとう。今夜はさよなら会、のすき焼会。
起き出して荷物整理、行李の大きい欲しいな。
衣類は極わづか、沼館さんがお買物。二病で洗濯して、皆でお部屋を清掃。準備 スムースに行つて六時頃始まる。酒井さんも張切る。
楽しいな。おいしいな。只一人富田さんが何故か浮かぬ顔。
入浴し損なつて十一時過出勤、会が終つて逆井さんの着物を代る代る皆で着て面白かつた。

4月7日 土曜日

昨日荷物を整理しておいたので楽。
雨上りの道を岩渕さんと逸早くリヤカーを引っ張り出してムシロあり合せ、一病のゴム布を全部持ち出してわづかばかりの荷物乍ら仰々しく運び始める。
白衣のまゝで道行く人に見られて恥かしい。準夜四時頃になって了った。
吉田さんと引きつぎ。
十一時頃迄、岩渕さん、伊藤さん一病で待ってて、伊藤さんは眠くて先に歸り、岩渕さんの甘食にあづかり二人で敬愛寮の新しい部屋に歸る。
もう床について了った皆さんにゴアイサツする。何だかおかしいような物珍らしいようなヘンな気持。

すぐ明くれば日曜日、髪を洗い、さてどうしようかと思ひ（病院にて）ブラブラしてると酒井さんより江戸屋の主人に招待されたとかで総婦長の代りに何だかいやだったけど、バスとハイヤーで明治座の観劇としゃれ込む。

新派、水谷八重子、あまり前なので嬉しかったがこれが歌舞伎だと有頂天になるんだけど。八重子のメーカーシップに感心した。役々によって年の違ふところなど。歸り日本橋の三越にて酒井さんお菓子買う。カリン糖、柳屋で中華そば二つ、おごられ通しである。酒井さんへの再認識。平原さんの家おそく訪問

4月9日 月曜日 運の好い日

小池さんの顔を見乍ら三時五分前に退けて当直室の用意の支度。気が気でなく着いてみればなあんだ早すぎた位。豪華な歌舞伎座の正面口の前に一杯の人ばかり、服装みるだけでも目の保養。
終ればすぐ平原さんを見つけて今見た芝居の話を一くさり。夜の部の方が入りが良いらしい。
海老蔵案外引立たず娘道成寺は素晴らしい出来だったが口惜しいかな、居眠して了った。嬉しかったのは吉右衛門の長兵衛が私の前を、扮装の儘通った事だ。けんじょうな、立派な風格の魅力ある姿で。
夜はみなみな良かった。あとで聞いたが、歌舞伎サークルでも夜の部は賣切とか。

4月15日 日

勤務退けて紺のスーツにハンドバックに傘を持って出かける。新宿御苑は夜迄やってるのかしら。
静かな水のほとりは雨も降らず、安らかな心持と、おどろいたり感心したり笑ったり。

4月16日

十六日月からも日勤、
 何があったか思い出せず
 何でも、一病え小母さんが来て――
 その日は急に半休、
 三人で始めて夜食して水曜田あたりにも十八田か十九田、火曜日は代休で
 十七日くわんと、お皿に餅菓子を持って赤いセーターに紺のスカートで出掛ける。歸りは
 大たんにも印刷庁門前迄送って来て貰った。晴れた夕方だった。

4月21日 土曜日

午後家へ行く。夜は兄が来たので夕飯のおそばを尻目にみて母と二人兄の新居訪問、あに
 よめなる人を見る。しっかりした姉さんがついてる。母のぐちもむりからぬところだ。私
 にも不満はある。

掃事後、母のやってる子供のセーターを編み始める。節ちゃん、三人連れて来る。
 ずる分大きいな。お晝は母の作った天井、で少し辛いがうまかった。

いつもやさしい美々しい母、父の気むづかしい顔

でも一日家に居るとよくお金が出るという事を痛感する。家庭を持ってみない、家にみない
 私にはわからない。おどろく事ばかり。

今夜から深夜なので八時頃歸る。

母が送って来てくれたので兄に貰った時計買ってお金の内千円上げて了った。夕食のさばの
 酢でしめたのはとても甘かった。

4月23日 月曜日

山口さんと選挙に行く。広セさんは休暇で歸る。

朝は何だか情けなくて腹痛でメソメソしてたらやさしい広セさんは床を敷いて寝かしてく
 れた。起きたらもう昨夕から編物に夢中なり。彼女は歸省したあとだった。

睡眠不足で目はくぼみ、血走り、ウエストは細くなった。

4月25日(水)

今朝ひけて当直室で寝て了った。夕方起き出し、セーターの胸に子猫の刺しゅうをして急
 ぎ都電で家へ行く。電車より降りて姉の所へ行く母と会った。家へ行き父と二人、私はセ
 ーターの仕上げをし乍ら父の述べくわいを聞く。

かはいそうな父、だけど一寸自分勝手ぢやないかしら。

私が勇気を出して父に抗議すればいいんだけど。

父の顔を見るといえない。

母9時頃歸りひろ子ちゃんのパンツの毛糸貰って錦糸町驛から、ところが身投の事故とか
 故障となり十一時四十分歸院、深夜が横山さんでよかった。

晝頃よりねづみ色のスーツで妹背山見に行く。
平日なので三階はガラ空き。でも三階の後なら幕見の方が花道がみえてよい。
新歌右衛門、左衛門、哀れで、強く又恋に強い町娘、豪快な鱧七。
たゞ良かった。演舞場に行き藤間勘右衛門襲名披露の会員券も買えて勇んで帰宅。沼館さんと編物もそちのけで松坂屋に寄り軽いセンベイ七十円也で出掛ける。着いてがっかり松緑の三兄弟は皆今夜は出ない。けど鏡獅子で二人共気を休めた。
あきらめてみた。流れ星はおもしろい。
皆感心するものばかりだが花散りては期待外れ。

4月28日(土)

朝退けて平原さんに面会、切符上げる。
手提袋、紺の共布で作り始める。平原さん部屋に遊びに来る。
我乍ら丹念に出来上げた手提

4月29日 日曜日

昨夕は準夜でクリップして寝、朝敬愛寮に歸り曇だったが傘持たず田中屋に依りパンを買って外出。丁度后一時頃
何だか化粧した顔が汗ばむようだ。
フラリと出掛けた浜離宮、海のみえる芝生の丘、いつみても好い気持。
顔のかゆさに、手の痛み、胸の切なさ、おっいやだ、いやだ、だんだんきれいな建物がくづれて行く感じ。銀座裏を歩いて歸る。
コースは同じ、色々な歌が星空にひびく。
あまりの自分の態度に時々我に返ってハッとする。
歌舞伎をみてるとうなるものなのかしら、バカな。
広セさん休暇のおかげで今夜も夜勤。眠かった日よ。
編物一つも出来ず。

4月30日(月)

午后出勤 半休、昨日も深夜 明けて代休。
広セさん帰院。洗濯出すので朝退けて和田さんに気兼しいしい寝かせて貰う。
広セさんの草餅おいしかった。キナコも。選挙に行く。
ゆっくり寝る。